

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前年比売上が133%、来客数が126%と引き続き好調を維持している。タスポ効果を完全に取り込んでいる感じがする。店内の他の商品の売行きにも波及している。
	やや良く なっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・タスポの影響で来客数が1割近く増えているが、客単価は前年割れしている。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・来客数や注文が今までより多くなってきている。
	変わらない	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・9月は敬老の日や運動会、お彼岸等、諸行事が多くある上、今年は中旬以降の気温低下もあり、食品店には良い季節だが、客はしっかりしていて、特売日または特価品等で必要量しか買わない。
			百貨店（総務担当）	来客数の動き
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・客は相変わらず買物に対して慎重である。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・食料品、実用品については、大幅な落ち込みはないが、婦人服を中心とした衣料品の売上低迷が依然として続いている。また、宝飾、アクセサリ、美術工芸等の高額品等の動きも極めて良くない。
		スーパー（統括）	お客様の様子	・新店舗が予測より売れているため、業績が上がっている。しかし、事故米や中国産食品のメラミン問題など、食品に対する不安から、輸入食品の売上は一段と落ちている。客からの問い合わせや交換も多い。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・事故米転売問題や中国汚染ミルク問題とそれに端を発するメラミン混入問題、産地偽装問題等、食の安心、安全に対する不安からか、売場で表示をチェックする姿や問い合わせが増えている。来客数、買上点数には変化が見られない。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・客は目玉商品があれば飛び付くが、特別それ以外の商品まで買うことはないので、キャンペーンを行っても、あまり売上が伸びない。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・今月は後半に気温低下が見られ、コート、ジャケット等の比較的高額商品が動いている。しかし、ブラウス、セーター類は、販売客数、品数共に大幅にダウンし、結果的に景況感は悪いまま変わっていない。
		衣料品専門店（店長）	単価の動き	・今月は中旬以降涼しい日が続いたため、秋物ファッションの伸びが活発化し、なんとか前年並みの売上を確保している。
		衣料品専門店（統括）	来客数の動き	・客の買い控えが強く感じられる。例年、今ごろは祭りを前に客の動きは良いが、今年は少し鈍い。
	家電量販店（営業担当）	お客様の様子	・売れ筋商品以外の取引が激減している。	
	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・以前に比べガソリン価格が若干下がったものの、日常品の物価が上昇したままであるため、車に対する購買意欲も低下したままである。	
	一般レストラン（経営者）	単価の動き	・単価的には現状を維持しているものの、原材料価格上昇の影響が多少ある。	
	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・原油価格が少し落ち着いてきているものの、先行き不安から、いまだ安近短の旅行に変わりはない。燃油サーチャージはまだ上がり続けそうなので、海外旅行への対応策が見えない。	
旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・9月は旅行業界にとって10月以降の秋商品が出そろった時期であり、秋、年末商品等の料金がかかるため、客のパンフレット持ち帰り率が非常に高い。3月までの長期のパンフレットもあるので、予定の立てやすい家庭や個人には良い動きがある。団体については動きが止まっている。		
ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・来客数は近隣の競合店が一時休業したため増えた感じはあるが、一時的なものと思われる。単価も横ばいである。		

	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・来場者が前年と同じである。
	ゴルフ場（業務担当）	来客数の動き	・今月は天候に大きな崩れがなかったため、入場者の獲得ができ、売上も伸びている。
	競輪場（職員）	お客様の様子	・来客数、購買単価共に前月を下回っている。
	その他サービス [自動車整備業]（経営者）	お客様の様子	・車検の台数は2年前の水準に戻りつつあるが、内容が良くない。お金が掛からないように整備をしてほしいという客が多くなっている。さらに10年以上経っている車検の入庫が増えている。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・景気は悪いまま変わらない。個人住宅や工場、事務所等を建築したいという会社の建築主からの紹介は皆無である。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・受注量に変動はないが、原価高騰により粗利の減少が続いている。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	競争相手の様子	・毎年デパートや大型店でランドセルの特別注文販売を行っているが、今年は9月上旬から宣伝を始め、早期割引をしている。一段と安売りが激化しそうである。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・客がどうしても必要な物以外は買わなくなっているため、販売量が伸びていない。
	一般小売店 [金物]（経営者）	販売量の動き	・アメリカに端を発した金融恐慌の影響で、消費者心理が冷えてきている。
	一般小売店 [家電]（経営者）	お客様の様子	・客の購買意欲が見えず、製品は買換えのみで、ついで買いの兆候すらない。アナログ放送停止時期を3年後に控え、北京オリンピックもあったが、デジタル機器の売上は予想以上に悪い。
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・販売量、来客数共に非常に少ない状況が続いている。ガソリン価格は少し低下しているが、まだまだ生活関連の物価は高く、なかなか消費が安定した状況にはなっていない。
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・食品や化粧品等、生活必需品は比較的堅調に推移しているが、衣料品全般が非常に厳しい状況である。消費行動において衣料品の優先順位が極めて低くなってきている。
	スーパー（経営者）	それ以外	・景気の不安要素により消費者マインドが低下している。
	スーパー（総務担当）	販売量の動き	・9月は特に衣料品が非常に苦戦している。 unnecessaryな物、さほど欲しくない物の売行きは非常に悪い状況である。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・石油製品関連の値上げが非常に響いている。
	乗用車販売店（販売担当）	競争相手の様子	・今年後半に入って車の売行きが極端に悪くなっている。修理部門は低単価の車検整備等で収益性が落ちている。今年一杯で廃業するところが何軒か出てきている状況で、景気は前半と比べると極端に悪くなっている。
	住関連専門店（店長）	来客数の動き	・買上点数が減っている。
	住関連専門店（経営企画責任者）	販売量の動き	・生活消耗品以外の物の販売量が伸びない。
	住関連専門店（仕入担当）	単価の動き	・低価格品、販促品の販売比率が高まっている。価格訴求品以外の販売は進まない。
	高級レストラン（店長）	販売量の動き	・ランチタイムは前年並みだが、ディナータイムの予約は、前年比で15%ほど落ち込んでいる。土日の来客数も低調で、客が外食を控える傾向が強く感じられる。
	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・夜の来客数が減少し、客単価も下がっている。
一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・食の安心、安全に対する消費者心理から火の充分通っている中華物が多数注文され、デザート類の注文が減っている。	
スナック（経営者）	来客数の動き	・ここ数か月で、一段と悪くなってきている。この状況が1年も続くようだと、かなりの数の居酒屋が廃業に追い込まれる。外でお酒を飲む文化が相当な勢いで無くなっている。	
観光型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・例年に比較し、来客数が減ってきている。	

	観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・相変わらず宿泊客の累計は前年を下回っている。
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・夏の需要停滞期を過ぎたにもかかわらず、宿泊・宴会需要共に前年を下回っている。
	タクシー運転手	販売量の動き	・駅からの乗り込み、流しの乗り込み、飲食店の配車依頼等徐々に減少傾向である。
	タクシー（経営者）	お客様の様子	・昼夜共に客の動きは悪く、前年比12%の減収である。
	通信会社（経営者）	販売量の動き	・物が売れない状況がずっと続いているが、いまだ好転の兆しが見えない。むしろ更に冷え込んでいる感がある。
	ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・近距離の地元客中心の来場比率は、平日はもとより、日曜日の来場も減少してきている。地場産業や建設業界の方の来場減が目立ち、周辺の値引き集客も収まらない。
	美容室（経営者）	販売量の動き	・地元の祭りもあり、セット等の売上が少し良かったが、その後、2割強減少している。決して楽観できない。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・金融不安の心配から、客の購入の決断まで時間が掛かっている。
	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・契約数は伸びず、売上高は引き続き、厳しい状況である。
悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・8月中旬より人通りが例年に比べ少ないと感じていたが、9月に入って顕著になってきている。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・食品スーパーの安い店には客が多いようだが、その他の店には客が入っている様子が見られない。
	一般小売店〔衣料〕（経営者）	販売量の動き	・当地域全域で小売の状態がかなりひどくなっている。近隣市街地等においても、シャッター街道が生まれたり、閉店する店が多くなっている。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・高齢者の買い控えがあるのではと思うほど、売上が取れない。
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・商店街に人通りがない。
	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・今月は原油価格低下の期待感があったが、関連商品の値上がり在家計を直撃しており、客がほとんど出てこない。売上にも影響している。
	家電量販店（店長）	来客数の動き	・依然、購入客数が前年同期に比べ格段に悪く、前年比80～90%と大きく下回っている。また、単価も低くなっている。購買意欲が感じられない。
	乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・ガソリン価格高騰の影響もあり、展示会をやらなければ客が来ない。この商売を25年続けているが、今までで最低の来客数である。
	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・稼働、売上、来客数共に底が見えない状況になっている。
	都市型ホテル（支配人）	お客様の様子	・予約状況が前年に比べて良くない。レストラン及び宴会の予約も前年より非常に低調に推移している。
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊関係でも、旅行代理店からの大きな予約が激減していて、かなり少なくなっている。ネット予約が辛うじて増えている現状にあるが、客の意見の厳しさ、ネット投稿の厳しさがあるので、ホテルの改善、改修が一番の悩みの種である。
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・今月は前年に比べ、売上が20%減少している。
	タクシー運転手	お客様の様子	・9月に入り急にタクシーを利用する人が減少している。週末の金曜日、土曜日の夜でも、人通りが無くなっている。
	観光名所（職員）	販売量の動き	・別荘の販売量が前年比で減少している。サービス業、不動産業の倒産が増加している。
	ゴルフ練習場（経営者）	それ以外	・地元ショッピングセンターは、破綻した米大手証券会社グループから施設運営費の協力を得ていたため、閉鎖することとなった。アメリカで起こっていることが、非常に身近に感じられる。
	その他レジャー施設〔アミューズメント〕（職員）	来客数の動き	・来客数は夜間から深夜にかけてのピーク時はそれほど減少していないが、午前中から昼、夕方にかけての元々客が少ない時間帯でかなり落ち込んでいる。全体的に減少傾向が見られる。

		美容室（経営者）	それ以外	・今月に入り、来客数も減っている状況である。組合の脱退者も少し多くなっており、景気が良いとは思わない。
		その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・建設、運輸業等様々な業界で自己破産、倒産が相次いでおり、売掛金が残った会社もある。良くなるとは思えない状況である。
		設計事務所（経営者）	それ以外	・学校、官公庁の耐震調査診断業務が今年度補助金で行われるため、県市町村で一斉に発注となり、県内の構造設計事務所はパンク状態である。そのため、当方の通常業務に支障が出ている。
		住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・最近の不動産市況がかなり冷え込んでおり、引き合いがほとんどない。貸し店舗、アパート等の賃貸物件についても、ますます空き店舗が増えている。アパート等についても入居率が悪く、空室が目立つ。
企業 動向 関連	良くなっている	その他製造業 〔環境機器〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・全国の廃家電プラントに納入するフロン回収機の入替え需要等がおう盛である。
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	食料品製造業（営業統括）	競争相手の様子	・中小メーカーは新酒を出荷してやや元気を取り戻しているものの、低コストの輸入ワインに押されて業界全体では低迷している。
		食料品製造業（製造担当）	それ以外	・依然として、石油関係の製品や穀物市場は高値で推移している。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・店頭商品受注動向はあまり変化がないが、特注受注の件数が増加している。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・景気も良くなく、仕事量も全般的に少ない。仕事量の確保に躍起になっている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・周りはあまり良くないが、当社は、取引先に比較的良好い会社が多いため、まずまずの状況である。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・前年並みの物量は確保しており、燃料も値下がりしているが、まだ経費負担が大きく利益が薄い状況である。
	やや悪くなっている	出版・印刷・同 関連産業（営業担当）	取引先の様子	・中堅建設会社の倒産により、当社の取引先等にもかなりの影響が出ている。
		金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・今月は決算期末にもかかわらず例年のような忙しさが無い。受注もマイナス気味である。材料、特に鋼板類、高炉関係が、このところの景気の影響で価格が低下傾向である。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・小型ショベル向け部品が北米を筆頭に当初の見込みより大幅に落ち込んでいる。ある取引先からは社内能力が余ったために仕事を引き上げる話も出てきている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・8月の最悪期からは1割程度受注が伸びたが、9月の中間期末で受注が出た感じである。10月から、かなり落ち込みが出てくるように思える。
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注数から見ても、大きな好転は想定できない。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・昨年のパチンコ業界の自主規制から始まった折込チラシの出稿量低迷は、1年経過しても、なお自主規制分を大きく上回る低迷となっている。また、新聞広告やミニコミ紙、情報誌等の広告も、前年比20数%の減収と聞くところもある。今月のチラシ出稿量は91%である。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・原油、燃料価格の高止まりをはじめとするコストアップ、売上減少による収入減のために、企業の採算は改善されていない。相変わらず、資金繰りに窮している状況である。
	悪くなっている	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・原材料の仕入れ値が大幅に上がり、販売価格を値上げしたが、買い控えのためか、注文が入ってこない。工場の人員が遊ばないように、他のセクションに回したり、ただ仕事をしているだけで、利益には貢献してこない。

		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・メインの取引先が、売上減少により、大幅な赤字予想となっている。また、東北地方の2度の地震の影響により、半導体入手トラブルで生産調整などもあり、当社の生産、売上共に減少している。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前と比較すると、当月の受注は約20から30%減っている。一方、資材、燃料価格高騰により、一部メーカー側に値上げをお願いしているが、むしろコストダウンの要請が強まっている状況である。
		その他製造業 [宝石・貴金属]（経営者）	受注量や販売量の動き	・末端の宝飾小売店が売れていないため、卸関係も冷え切っている。関係問屋に倒産もあった。
		建設業（総務担当）	それ以外	・公共工事の安値受注により、赤字工事が多く発生している。その結果、当期の赤字決算が確実となり、3期連続である。金融機関からの融資が今後期待できない。
		金融業（店長）	取引先の様子	・仕入価格の上昇で売上が減少しており、利益幅減により債務が超過している。
		不動産業（経営者）	取引先の様子	・確実に空き部屋の数が増えてきている。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・年末商戦のチラシ制作受注件数および案件が、20%は減少している。印刷費の値上げ分を広告制作価格に上乗せすると受注が減ったり、制作部数を減らされたりと、状況は悪化するばかりである。
		社会保険労務士	取引先の様子	・争うようにマンションを建てていたが、需要の停滞により新規の建設が止まりだしている。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・業務請負は、3か月前と比べるとほぼ変わらないが、若干少ない。住宅関連はここにきて少なめで、電気、自動車関連、電子は、横ばいの状況である。
		人材派遣会社（経営者）	それ以外	・原油が上がっているため、仕事量が少ない。仕事が出て長続きしない。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年比で10.3%減となっている。3月以降6か月連続で前年比減少となっている。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・8月の新規求人数及び新規求職者数共に前年比で減少しており、特に求人数は大きく減少している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人が前年同月に比べ17%以上減少しており、有効求人も12%以上の減少で、15か月連続で前年を下回っている。
		学校[専門学校]（副校長）	求人数の動き	・学校求人に関して特定の業界の求人はあるが、それ以外は昨年に比べて少なくなっている。最近は特に介護職員の募集が多い。
		学校[短期大学]（就職担当）	求人数の動き	・中小も合わせ、8割の企業が採用活動を終了した感触であり、かなり厳しい状況である。
	悪くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・求人数、特に一般事務系が減っている。これまで派遣社員を活用していた会社も人件費の節減のため、正社員でまかなう傾向がある。
		求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・周辺企業を見ると、全体的にさらに景気の悪化が見られ、求人企業も減っている。
		求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・相変わらず求人募集の広告が落ち込んでいる。現実には派遣などが減っている。介護、病院など人手不足の部分もあるが、全体的にはかなり落ち込んでいる。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・派遣社員の解約、中途採用の凍結、新卒採用数の手控えが顕著になってきている。